

事業所名

重症児デイサービス ハルノヒ江戸川台(児童発達支援)

児童発達支援 支援プログラム

作成日

令和 8 年

3 月

6 日

法人(事業所)理念		法人：特別なニーズを持つお子様とご家族の地域生活を支援することを軸に、お子様の今できる選択、将来の選択肢を少しでも増やしていけるような事業展開をしていく。 事業所：活動の中でお子様の「好き」「楽しい」「やってみたい」を引き出し、一人ひとりの子どもの可能性を育む。子どもも大人も笑顔で過ごせる場所の提供を心がける。		
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・ハンモックやトランポリン、バランスボールなどを使用して健康的な身体づくりに取り組みます。 ・看護師、児童指導員、リハビリスタッフが連携し、お子様の日々変化する健康状態を把握いたします。 ・地域の様々な大人や子どもと関わり、繋がりを深めながら、重症心身障害児者について周知していきます。 		
営業時間		平日(祝日、12/29~1/3を除く) 10時00分~17時00分	送迎実施の有無	あり (車で片道30分程度)
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の健康状態の把握(来所時の検温、健康観察)、看護師による日常の健康状態チェック、医療的ケアの実施 ・生活リズムの安定(定期的に通所、朝、帰りのお集まりなど定時に行う活動等) ・食事を楽しみながら摂取するための配慮(口腔体操、咀嚼嚥下支援、姿勢保持等) ・生活の中で遊びを通して学習できる環境配慮。構造化を意識した環境設定(日付、曜日、天気、活動などをわかりやすく提示) ・食事、排泄、睡眠、着脱、清潔などの生活習慣の習得、獲得を促す(持ちやすい食具の提供、手すりの設置、手洗い方法の提示等) 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士による計画的なりハビリテーションを実施(基本動作【寝返り・立つ・座る】や関節可動域訓練、感覚入力、バランス訓練) ・前庭覚、固有感覚、皮膚感覚への刺激。繰り返し動作の実施により慣れと学び(マッサージや体操、ハンモック、トランポリン、バランスボール等) ・視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚等を活用し、五感全てを感じられるような支援(調理活動、スヌーズレン、アロママッサージ、足浴、音楽遊び等) ・楽しみながら体を動かす機会の提供 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・朝、帰り集会での日付、曜日、天気の認知、理解(天気、曜日などは触れてわかる提示物の作成、カレンダーへのシール貼り等) ・季節に合った行事体験、季節の変化への興味(戸外活動、季節の行事等) ・空間、物、数、色、大きさなどの概念形成(粘土やスライムに触れる、形や重さ、色などを絵本や活動から触れる等) ・自然や生命の尊さの学びの機会の提供 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言語の表出(音声ボタンによる挨拶、絵カードによる気持ちの選択) ・繰り返しの活動の中で、具体的な事物や経験と言葉の意味を結び付けや言語の習得 ・身振り、手振り、視線などのサインによる気持ちの表出、選択する活動(製作で使用する画用紙の色などの活動時、おやつ等) 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・集団活動への参加(集会、パラバルーンなどの活動) ・愛着形成、スタッフとの関係構築(ふれあい活動、安心できる関係・環境作り) ・社会資源の活用(公園、図書館等公共施設での活動、買い物活動) 		
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・家族からの困りごとなどに対する相談援助、子どもの成長の共感、確認 ・保育園、幼稚園、他の通所事業所など関係機関との連携 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・同年代の子どもや地域住民の方との交流 ・移行先との情報の共有等(保育園、幼稚園、学校、他の通所事業所等)
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・他の通所事業所との交流、情報交換 ・相談支援事業所との連携 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・内部、外部の研修への参加 ・児童発達支援管理責任者資格取得、喀痰吸引等の研修の受講など
主な行事等		お花見、ハロウィン、運動会、クリスマス、豆まき、ひな祭り、調理活動、誕生日会、避難訓練		